

柏王区防災計画

2022(令和4)年10月作成
(以後随時改定)

1 柏王区の人数

分区	1	2	3	4	5	合計
世帯数	120	23	38	39	63	283
要支援者数	5	1	1	0	4	11

(令和7年5月15日現在、柏王区資料より)

2 基本的な考え方

(1) 基本方針

- ・ 自分の身は自分で守る「自助」(家庭)
- ・ 共に支え助け合う「共助」(地域)
- ・ 行政による対策「公助」

(2) 活動目標

① 平時の対応

- ア 住民への防災・減災知識の普及や啓発活動
- イ 地区内の安全点検と対策
- ウ 防災訓練の実施 地区住民に積極的な参加を呼びかける
- エ マイタイムライン(避難に備えた一人ひとりの行動計画)の作成
- オ 要支援者等支援体制づくり
- カ 地区防災計画の定期的見直し
- キ 各家庭での備蓄品の準備

② 災害時の対応

- ア 千曲市災害対策本部及び関係機関(千曲坂城消防本部、千曲警察署、長野気象台など)から正しい情報を収集し、住民に伝達
地区内の被災状況や災害発生情報などをとりまとめ千曲市災害対策本部へ報告
- イ 住民と負傷者や家屋の下敷きになった人の救出・救助活動。また、負傷者の応急手当等を行い救護所などへ搬送
- ウ 消火栓・消火器などによる初期消火活動
- エ 住民を安全な避難所・避難場所へ誘導。避難時には隣近所への声かけや安否確認
- オ 危険個所の警備や保安活動のため地区内の巡回。空き巣などの防犯巡回

③ 避難行動要支援者等(高齢者、障がい者、子ども)への避難誘導、避難行動などの支援

- ア 隣近所の助け合い。複数の支援者が一人の要支援者を支援
- イ 避難経路等に障害物や危険個所がないか点検
- ウ 情報が確実に伝わるよう、日頃から積極的に要支援者とのコミュニケーション

3 柏王区の特徴～災害のリスク

①自然（地形）特性

- ・地区内のすべての地区が、高低差の少ない平地で、大雨の時には浸水する危険性あり
【100年に1度の雨】千曲川が氾濫すると柏王区は 0.5m未満から2.0m未満の浸水の深さとなる（防災ガイドブック2014年版P.38）
【1000年に1度の雨】水位は5～10m（洪水・土砂災害ハザードマップ戸倉地区）
※この場合、柏王公民館2階でも危険。あらかじめ避難する高台や浸水のおそれのない親せきの家等を探しておくことが望ましい。
- ・山側は、柏王南側地域、柏王神社周辺、柏清水公園周辺、柏王北側地域まで、土砂災害特別警戒区域（急傾斜）、土砂災害警戒区域（急傾斜）に指定されています。令和7年には、第3分区の周辺地域が新たに指定され、ほぼ全域が指定されている状況です。
- ・山側は大雨の時たびたび出水する
- ・五十里川（大川）が流れ、大雨の時、川水があふれる危険性あり

②社会特性

- ・小さな区で、面積も狭く、比較的人のつながりが強い
- ・小学生など子どもが少なく、高齢者が多い。空き家も多い。

4 防災活動の内容

（1）活動目標

『自分たちの地域は自分たちで守る』を基本に、迅速な安否活動体制を構築し、“逃げ遅れ”ゼロを目指す。

防災訓練や防災研修会を開催し、自助・共助の確立を図る。

（2）避難行動、避難場所

『自らの命は自らが守る』を基本に、災害の恐れがある場合は、市からの避難指示を待つことなく自主避難を基本とする。そのため、迅速な避難が行えるようマイタイムラインを作成。

避難場所等及び非常持出品の確認を行い、避難情報発令時の安全な避難に努める。

① 警戒レベルに応じた避難行動

警戒レベル	対応等
レベル1 気象庁発表	（早期注意情報）心構えを高める
レベル2 気象庁発表	（大雨・洪水注意報）避難行動確認
レベル3 市が発令	（ 高齢者等は避難開始 ）要支援者の避難を促します
レベル4 市が発令	（地域住民へ避難指示）危険な場所から 全員避難 します。
レベル5 市が発令	（災害発生または切迫） 命の危険 直ちに安全確保

② 柏王区での避難判断

【地震】

レ ベ ル	状況等
安全確保	地震が発生し、家屋等の壁のひび割れや瓦の落下が確認された場合 火災や停電が発生した場合

【洪水】 市などが発する情報を収集する

警戒レベル	河川等	水位状況等
警戒レベル3	千曲川	杭瀬下水位観測所で 4.00mを超えた場合
	沢山川	生萱水位観測所で 2.7mを超えた場合
警戒レベル4	千曲川	杭瀬下水位観測所 5.00mを超えた場合
	沢山川	生萱水位観測所 3.1mを超えた場合
警戒レベル5	千曲川	堤防からの越水の恐れがある場合
	沢山川	水門閉鎖等により内水の排水が不可能となった場合

【土砂災害】

警戒レベル	状況等
警戒レベル3	大雨警報（土砂災害）（長野地方気象台）が発表され、引き続き降雨が予想される場合
警戒レベル4	土砂災害警戒情報（長野地方気象台・長野県）が発令された場合
	前兆現象（小石が落ちてくる、山鳴りがする、川の水に流木が混ざり始める）が確認された場合
警戒レベル5	土砂災害が発生した場合

③避難場所・避難所（地震・土砂・洪水）

避難所・避難場所	備 考	電話番号
戸倉小学校	3F 建 指定緊急避難場所 兼 指定避難場所 市職員あり 福祉避難所併設	275-0072
戸倉上山田中学校 つばさ体育館	3F 建 指定緊急避難場所 兼 指定避難場所 市職員あり 戸倉上山田中学校のみ福祉避難所併設	275-0069
柏王公民館	2F 建 指定緊急避難場所 兼 指定避難場所 市職員なし 屋外 300 人、屋内 80 人 地震：380 人 土砂 380 人、洪水 40 人	
白鳥園	2F 建 市と基本協定による福祉避難所（高齢者・障がい者・妊産婦等） *直接非難は不可	275-0400
五加小学校	2F 建 指定緊急避難場所 兼 指定避難場所 市職員あり 福祉避難所併設	275-0643
柏清水公園	指定緊急避難場所 建物無し 土砂災害時は不可	
その他	地震：防災ガイドブック P.42 参照 土砂・洪水：洪水・土砂災害ハザードマップ戸倉地区参照 （R7.3 作成）※R7.4 に土砂災害特別警戒区域（急傾斜）、 土砂災害警戒区域（急傾斜）新たに指定された箇所あり	

【要支援者の避難】

警戒レベル2で正副区長が公民館に待機

警戒レベル3で、高齢者等避難の開始を指示

千曲市 → 区長 → 副区長

→ 消防第8分団柏王班筆頭班長：避難が困難な要支援者を応援

→ 民生児童委員 → 要支援者「避難支援を始めます」

→ 各分区長 → 要支援者「地域支援者が向かいます」

→ 地域支援者「お宅に向かってください」

（３）自主防災会 体制および平常時における防災活動

役 職 等	担 当	活動内容
会 長	区 長	全体調整、年間計画作成、地区防災計画の見直し 避難訓練計画
副会長 ３名	副区長他	地区の安全点検、防災資機材の点検・整備
広報連絡班	別 紙	地区住民への防災知識の普及や啓発活動
避難誘導・救護班	別 紙	負傷者等の介護・応急手当訓練
救出・消火・防水班	別 紙	防災資機材の点検・整備（消火・防水関係）
消防第８分団柏王班	別 紙	防災資機材の点検・整備（消火・防水関係）
民生児童委員	別 紙	避難要支援者の確認と支援体制づくり
水門管理者等	別 紙	豪雨時における増水時の水門開閉、各沢の砂防作業の実施

（４）自主防災会 災害時における防災活動

役 職 等	担 当	活動内容
会 長	区 長	災害時の指揮命令
副会長 ３名	副区長他	会長職務代行、会長補佐、会計
広報連絡班	別 紙	災害時の避難広報、被害状況把握
避難誘導・救護班	別 紙	避難時の高齢者・避難要支援者の誘導・介護・手当
救出・消火・防水班	別 紙	行方不明者搜索、負傷者救出、防火・防水活動
消防第８分団柏王班	別 紙	行方不明者搜索、負傷者救出、防火・防水活動
民生児童委員	別 紙	避難要支援者の確認と所在場所の救護班への情報連絡
水門管理者等	別 紙	豪雨時における増水時の水門開閉、各沢の砂防作業の実施

(5) 防災資機材等

① 保有資機材

(令和7年3月31日現在)

場 所	物資名	数 量	備 考	点検 ☒
柏王公民館	消火器	4	1F：2, 2F：2	
	ラジカセ	1		
	毛布	0		
	ヘルメット	0	区長1・副区長1	
	AED	0		
	紙おむつ	0		
	アルファ米	125	5年保存（炊き出し用）	
	保存水	192	7年保存（500ml）	
公民館倉庫	ハンドマイク	1		
	灯油ストーブ	1		
	投光器	1		
	発電機	1		
	テント	2張り		
	バーベキューコンロ	1	炭もあり	
	リヤカー	0		
公 民 館 外	土のう	約 200	栢岩寺前倉庫、公民館前	

5 自主防災会の復旧・復興期の活動

役 職 等	担 当	活動内容
会 長	区 長	市との連絡調整 全体調整 復旧復興状況の把握
副会長 3名	副区長他	区内の被害確認、復旧、復興活動の指示
広報連絡班	別 紙	避難者情報の管理、復旧復興状況の伝達
避難誘導・救護班	別 紙	帰宅する避難者の誘導や安全確認
救出・消火・防水班	別 紙	防災資機材の点検・整備（消火・防水関係）
消防第8分団柏王班	別 紙	防災資機材の点検・整備（消火・防水関係）
民生児童委員	別 紙	要支援者の生活支援
水門管理者等	別 紙	水門等の点検、整備
(避難所運営班)	会長他 日赤奉仕団	避難所運営、備蓄品の配布や炊き出し

6 防災訓練・研修等

(1) 防災訓練

防災訓練を年1回開催する

訓練時は各世帯1名以上の参加を呼びかける

(2) 防災研修

防災に関する研修や啓発を図り、地域住民の意識の向上を図る。

7 柏王区の役員名簿（別紙）・連絡体制

会長→副会長（副区長）→広報連絡班

→副会長（副区長）→避難誘導・救護班

→副会長（分館長）→救出・消火・防水班

→副会長（前区長）→消防第8分団柏王班

→民生児童委員

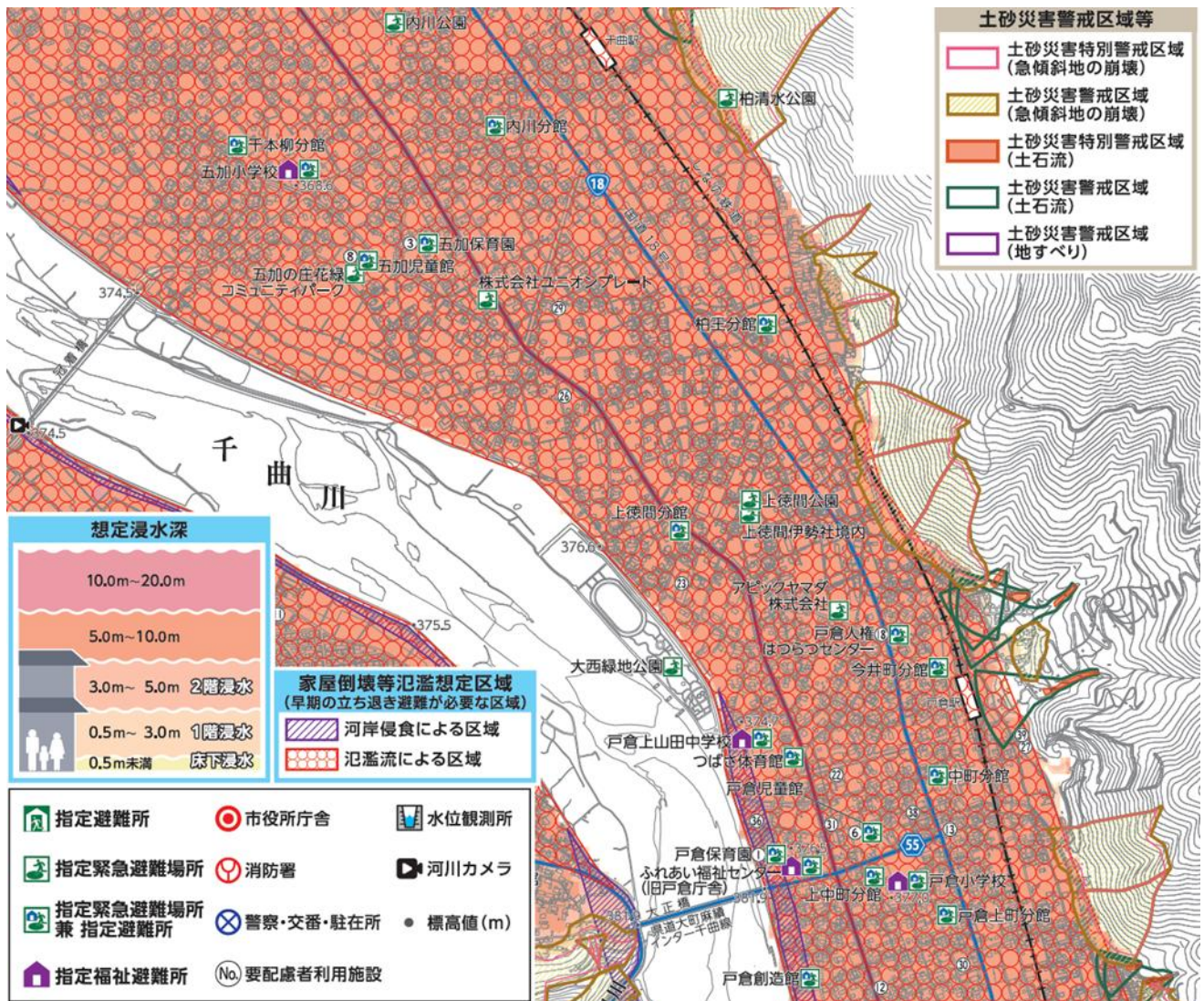
→(日赤奉仕団)

8 柏王区の備蓄計画

（令和7年5月15日現在）

No.	物 品 名	目標数	令和6年度 末在庫	整備予定年度			備 考
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	
1	飲料水 (500ml)	336本	192	240	288	336	消費期限7年
2	備蓄食料 (アルファ米・炊き出し用)	200食	125	150	175	200	消費期限5年 基本、毎年、100食分購入し防災炊き出し訓練用として過去購入分から75食分を使用
3	灯油ストーブ	6台	1	6	—	—	令和7年度区公民館ガス暖房器具（レンタル）に変更予定。灯油ストーブは、災害用に転用

柏王区の防災について ～ 逃げ遅れ ゼロ をめざして ～



（2025年（令和7年）3月 洪水・土砂災害ハザードマップ）

柏王区ではどんな災害が？

- ・地区内のすべての地区が、高低差の少ない平地で、大雨の時には浸水する危険性あり
【100年に1度の雨】千曲川が氾濫すると柏王区のほぼ全体が 0.5m未満から2.0m未満の浸水の深さとなる（防災ガイドブック2014年版P.38）
【1000年に1度の雨】水位は 5～10m（洪水・土砂災害ハザードマップ戸倉地区）
※この場合、柏王公民館2階でも危険です。あらかじめ避難する高台や浸水のおそれのない親せきの家等を探しておきましょう。
- ・山側は、柏王南側地域、柏王神社周辺、柏清水公園周辺、柏王北側地域まで、土砂災害特別警戒区域（急傾斜）、土砂災害警戒区域（急傾斜）に指定されています。令和7年度には、第3分区の周辺地域が新たに指定され、ほぼ全域が指定されている状況です。
- ・山側は大雨の時たびたび出水します
- ・五十里川（大川）が流れ、大雨の時、川水があふれる危険性があります

大雨土砂崩れや洪水が心配な時は？

警戒レベル	対応等
レベル1 気象庁発表	(早期注意情報) 心構えを高める
レベル2 気象庁発表	(大雨・洪水注意報) 避難行動確認
レベル3 市が発令	(高齢者等は避難開始) 要支援者の避難を促します
レベル4 市が発令	(地域住民へ避難指示) 危険な場所から 全員避難 します
レベル5 市が発令	(災害発生または切迫) 命の危険 直ちに安全確保

避難する場所は？ (地震・土砂・洪水)

避難所・避難場所	備 考	電話番号
戸倉小学校	3 階建 指定緊急避難場所 兼 指定避難場所 市職員あり 福祉避難所併設	275-0072
戸倉上山田中学校 つばさ体育館	3 階建 指定緊急避難場所 兼 指定避難場所 市職員あり 戸倉上山田中学校のみ福祉避難所併設	275-0069
柏王公民館	2 階建 指定緊急避難場所 兼 指定避難場所 市職員なし 屋外 300 人、屋内 80 人 地震：380 人、土砂 380 人、洪水 40 人	
白鳥園	2 階建 福祉避難所 (高齢者・障がい者・妊産婦等) * 直接非難は不可	275-0400
五加小学校	2 階建 指定緊急避難場所 兼 指定避難場所 市職員あり 福祉避難所併設	275-0643
柏清水公園	指定緊急避難場所 建物無し 土砂災害時は不可	
その他	地震：防災ガイドブック P.42 参照 土砂・洪水：洪水・土砂災害ハザードマップ戸倉地区参照 (R7.3 作成) ※R7.4 に土砂災害特別警戒区域 (急傾斜)、土砂災害警戒区域 (急傾斜) 新たに指定された箇所あり	

【要支援者の避難】

警戒レベル2で正副区長が公民館に待機

警戒レベル3で、高齢者等避難の開始を指示

私が支援する人	さん	連絡先：
---------	----	------

～ 自分の命は自分で守る ～ をたいせつに

※ 防災ガイドブックを時々読み返し、災害に備えましょう

※ 防災ガイドブックの P.7・8 のマイタイムライン (避難に備えた一人ひとりの行動計画) を記入しておきましょう